

# 臨床心理学特講 8

## 「眠りを疎かにしている日本社会」

眠りに関する基礎知識を得たうえで、「**ヒトは寝て食べて出して始めて活動の質が高まる動物である**」との当然の事実を確認し、現代日本が抱えている問題のかなりの部分に、我々が動物であることの謙虚さを失い、眠りを疎かにしたことの報いが及んでいることを認識していただければと思います。そして願わくばこの講義が皆さんの今後の生き方を考える際の一助になれば幸いです。

1	9月28日	オリエンテーション	眠り学入門の感想提出
2	10月5日	眠りの現状1	はじめに、1章
3	10月12日	眠りの現状2	2章
4	10月19日	眠りを眺める	3章
5	10月26日	眠るのは脳	4章、5章
6	11月2日	寝不足では・・・	6章
7	11月9日	眠りさえすればいつ寝てもいい？	7章、8章
8	11月16日	眠りと物質 → Karoshi	9章
9	11月30日	眠りと物質	10章
10	12月7日	様々な眠り	11章
11	12月14日	睡眠関連疾患	12章
12	12月21日	眠りの社会学スリープヘルス・スリープリテラシー	13章
13	1月11日	Pro/Conの準備	14章、15章
14	1月18日	Pro/Con	16章、付録、おわりに
15	1月25日	まとめと試験	

# 3人グループを作って

- まず話をする順番を決めて。
- 話は一人30秒。
- 30秒テーマについて考える。
- テーマは
- 大好きな言葉は何。
- ではまず考える30秒。

# Take Home Message

- 社会的時差ぼけにも要注意

1 1-1. セロトニンに働きについて正しいのはどれか？

1. 心を穏やかにする。
2. 眠気をもたらす。
3. 背を伸ばす。
4. 1-3はすべて正しい。
5. 1-3はすべて誤り。

1 1-2. コルチコステロイド分泌について正しいのはどれか？

1. ピークは夕方。
2. 朝の光で促進される。
3. リズミカルな筋肉運動で促進される。
4. 1-3はすべて正しい。
5. 1-3はすべて誤り。

1 1-3. 体温について正しいのはどれか？

1. 最低体温を記録した後に手足がぽかぽかする。
2. 体温の日内変動は通常 $0.1^{\circ}\text{C}$ 以内。
3. 最高体温は通常夕方に記録する。
4. 1-3はすべて正しい。
5. 1-3はすべて誤り。

1 1-4. 日本の子どもの眠りについて正しいのはどれか？

1. 睡眠時間は世界最長。
2. 昼寝の時間は世界最短。
3. 就床時刻は世界で最も早い。
4. 1-3はすべて正しい。
5. 1-3はすべて誤り。

1 1-5. 生活リズム確立に重要な事は

1. 規則的な食事
2. 規則的な排泄
3. 必要十分な運動
4. 1-3はすべて正しい。
5. 1-3はすべて誤り。

1 1-6. 早起きが何より大切。

1 1-7. 閉塞性睡眠時無呼吸症候群は大人の病気。

1 1-8. 入眠儀式は大切だ。

10-1. 寝る前の食事は成長ホルモン分泌を抑えてしまう。 ○

2. 平日寝不足が続いても、休日に昼まで寝てゆっくり休めば問題ない。○か×か? ×

10-3. 50年前、日本人の平均睡眠時間は8時間以上だった。○か×か? ○

10-4. レム-ノンレム睡眠の周期について正しいのはどれか?

1. この周期で眠りは浅くなる。 2. 成人ではこの周期は90-100分。

3. 新生児ではこの周期は40分前後。

4. 1-3はすべて正しい。 5. 1-3はすべて誤り。

10-5. 寝不足がもたらすことで正しいのは?

1. 副交感神経機能の緊張 2. 耐糖能の上昇 3. 免疫機能低下

4. 1-3はすべて正しい。 5. 1-3はすべて誤り。

10-6. 早起きに大切な事は?

1. 早ね。 2. 気合い。 3. 昼間の活動。

4. 1-3はすべて正しい。 5. 1-3はすべて誤り。

10-7. ヒトはつい最近まで夜行性の動物だった。 おそらく ×

10-8. メラトニンについて正しいのはどれか?

1. 抗酸化作用がある。 2. 性的成熟促進作用がある。

3. 夜間の光で分泌が促進される。

4. 1-3はすべて正しい。 5. 1-3はすべて誤り。

# 身近なsleep disorder

- 睡眠時無呼吸
- 歯ぎしり

# 睡眠関連歯ぎしり(教科書から)

- 睡眠関連歯ぎしりの頻度は小児期に高く14~17%を占めるが、その後減少、10代で12%、若年から中年で8%、高齢者では3%以下という。しかし歯科治療の素材が歯ぎしりの音を軽減させており、加齢に伴う減少は過剰に見積もられているという。20-50%の方に家族歴がある。朝あるいは日中に頭痛、特に側頭筋の筋緊張型性頭痛が健常者の4倍の危険率で生じると言われている。睡眠関連歯ぎしりはN1とN2に集中して発生する。レム睡眠期に生じるとは稀だが、主としてレム睡眠期に生じる方もいる。筋電図所見には0.25から2秒の相動性筋放電が1Hzの頻度で生じる場合、2秒以上の持続的筋放電、及び両者の混在の3パターンがある。誘因にはストレス、喫煙、カフェイン、睡眠呼吸障害、精神神経疾患、薬物の他、小児では注意欠陥多動性障害との関連も知られている。治療法は確立しておらず対処療法が主流で、口腔内装置による歯の損傷や雑音の防止の他、認知行動療法も行われる。疼痛を伴う際には短期的に筋弛緩薬が用いられることもある。
- 患者の10%に顔面下顎ミオクローヌス(筋電図上は250ミリ秒未満の短い筋放電)を認めるが、顔面下顎ミオクローヌスは他に特に異常を認めない方にも生じ得る。舌咬傷を伴う小児例も報告されているが、自然治癒例(木村ら2000)、クロナゼパムの著効例(本多ら、2011)の他、クロナゼパムが一時的の効果をしましたもののその後再発、加療に苦慮している例(Mandakiya et al, 2014)もある。
- 複雑部分発作や全般性てんかんに随伴する律動性の下顎の動きを睡眠関連歯ぎしりと鑑別する必要がある。しかしながらてんかんが孤発性の睡眠関連歯ぎしりとして発現することは極めて稀と考えられている。

## Health in a 24-h society

- スリーマイル島やチェルノブイリの原発事故は深夜から明け方に起き、アメリカ史上最大の原油流出事故となったアラスカ沖でのタンカー、エクソン・ヴァルディーズ号の座礁オイル漏れ事故、スペースシャトルチャレンジャーの事故も深夜作業中に注意力を欠いたことが原因と考えられている ([Rajaratnam & Arendt](#), 2001. **Health in a 24-h society.** Lancet 358(9286):999-1005.)

エクソン・バルディーズ号事件

Struggle



# エクソン・バルディーズ号事件

- 1989年にタンカー「エクソン・バルディーズ号」が起こした大規模な油流出事故。  
同号は、米国アラスカ州バルディーズ港から原油20万キロリットルを積載して出港し、1989年3月24日午前0時頃、同港の南西22マイルにおいて乗揚げ事故を起こし、積荷の原油約4万2,000キロリットルを海上へ流出させた。流出油は、防除体制の遅れからプリンス・ウィリアム湾一体に広がり、少なくとも350マイル以上の海岸を汚染し、ニシン、鮭等の魚類、海鳥、海獣等が多大な被害を受け、国際的に大きな反響を呼んだ。



# エクソン・バルディーズ号の座礁オイル漏れ事故

- 1989年3月の石油タンカー、エクソン・バルディーズ号原油流出事故(3月24日午前0時頃)の報告書内容を紹介します。
- 衝突時甲板には乗組員Aが一人でいました。乗組員Bは、乗組員Aと船の位置や航路について打ち合わせをした後、23:53に甲板を後にしています。この時点で乗組員Aはすでに17:50から6時間にわたって勤務をしていました。甲板には二人の乗組員がいることになっており、乗組員Aはもう一人の担当者乗組員Cを起こす筈でした。しかしAはCが昼間忙しかったことを知っており、Cの代わりに引き受ける、とCにあらかじめ伝えてありました。つまりAは午前4時まで一人で担当するつもりだったのです。
- 会社側の説明ではAはその日1:00から7:20まで眠り、その後再び13:30から17:00まで眠ったのちに17:50から勤務に入り、事故前の24時間に10時間は眠っていたとしていました。しかし実際にはAはその日の午後も仕事をしており、報告書ではAは事故前18時間は眠っていなかったと推定しています。
- 事故報告書ではAの寝不足が事故原因のひとつとしてされています。Cに気づかい、Aが寝る間を惜しんで仕事をした結果がこの重大な事故を招いたのです。
- この事故はこれまで海上で発生した人為的[環境破壊](#)のうち最大級のもので、原油1080万ガロンが流出したとされています。事故後まもなく死亡した野生動物数は各種の[海鳥](#): 25万-50万羽、[ラッコ](#): 2800-5000頭、[カワウソ](#): 約12頭、[ゴマフアザラシ](#): 300頭、[ハゲワシ](#): 250羽、[シャチ](#): 22頭、その他[サケ](#)や[ニシン](#)の卵の被害は甚大であったとされています。



# 睡眠不足が主因の世界的大惨事

※スリーマイル島原発事故(1979年3月)

※インド・ボパール化学工場ガス爆発事故(1984年12月)

※スペースシャトル・チャレンジャー爆発(1986年1月)

※チェルノブイリ原発事故(1986年4月)

※石油タンカー・バルディーズ号原油流出事故(1989年3月)

# Take Home Message

- 睡眠不足は社会のリスク

# 「都立高校中途退学者等追跡調査」 平成 25 年 3 月

## 報告書

東京都教育委員会

平成 23 年度を例にとると、都立高校の中途退学者数が 3,337 人（全日制 1,543 人、定時制 1,794 人）おり、進路未決定卒業者が 2,387 人（全日制 1,598 人、定時制 789 人）いる。これら多くの生徒が、次の進路を決めることのないまま、都立高校を離れている。

**都内国私立高等学校中途退学者数;5088名**

<p>①学校層 (教育機関等に在籍している者)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○全日制高校</li><li>○定時制高校</li><li>○通信制高校</li><li>○専門学校</li><li>○大学</li></ul>	<p>②学習意欲層 (資格取得・職業訓練を受けている者)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○資格取得講座</li><li>○サポート校</li><li>○職業訓練校</li><li>○予備校(大学)</li><li>○独学</li></ul>	<p>③正社員層 (正規雇用で就労し、特に学習していない者)</p>	<p>④フリーター層 (非正規就労で、特に学習していない者)</p>	<p>⑤家事・育児層 (家事・育児、その他に従事している者で、特に学習していない者)</p>	<p>⑥ニート層 (非就労で求職をせず、特に学習していない者)</p>
<p>21.6% (213名)</p>	<p>17.0% (168名)</p>	<p>7.7% (76名)</p>	<p>41.6% (411名)</p>	<p>4.9% (48名)</p>	<p>6.0% (59名)</p>

#### (4) 主な調査分析

##### ア 中途退学した理由

###### ①退学した時の本人の状況〔調査票 問4-(1)に該当〕

(単位 %)

退学した時を振り返ると、次のようなことはあなたにどのくらいあてはまりますか。それぞれについて、 <u>あてはまる番号に1つ〇をつけてください。</u> (4件法による質問)	学校	学習意欲	正社員	フリーター	家事育児	ニート
A勉強についていけなかった	29.6	36.9	29.0	28.9	33.4	32.2
B遅刻や欠席などが多く進級できそうになかった	59.1	65.5	63.2	68.8	70.8	57.6
J通学するのが面倒だった	55.4	45.8	64.5	62.1	60.4	52.5
F自分の生活リズムと学校が合わなかった	43.2	37.5	31.6	41.1	33.4	35.6
D友人とうまくかかわれなかった	44.6	38.7	19.7	28.7	22.9	47.4
E精神的に不安定だった	46.9	51.8	23.7	36.2	31.3	57.6
H問題のある行動や非行をしてしまった	20.7	16.0	44.8	23.6	18.8	11.9
I学校から校則違反を注意されていた	24.9	20.8	43.4	29.5	20.9	18.7
L学校とは別に他にやりたいことがあった	30.6	29.8	48.7	29.2	35.4	15.3

30.9%

65.1%

39.5%

※「とてもあてはまる」、「まああてはまる」の合計の割合を指す。

※60%以上＝濃い網掛け 40%以上＝薄い網掛け

###### ①退学した時の本人の状況〔調査票 問4-(1)に該当〕

- ・「B 遅刻や欠席などが多く進級できそうになかった」、「J 通学するのが面倒だった」の項目が共通して高くなっている。これは、中途退学に至る背景に、中途退学者本人の「基本的な生活習慣の未習得」という課題があることを示している。
- ・各層において、「A 勉強についていけなかった」という項目への回答率は低い。

②どのようなことがあれば、中途退学しなかったと思うか（本人の考え）

〔調査票 問4-(5)に該当〕

(単位 %)

今、振り返ってみて、どのようなことがあれば退学しなかったかと思いませんか。あてはまる番号にすべて0をつけてください。	学校	学習意欲	正社員	フリーター	家事育児	ニート	
人付き合いがうまくできること	36.2	38.7	9.2	27.7	18.8	39.0	30.3%
友人や仲間からの手助けがあること	16.0	17.3	6.6	11.4	8.3	16.9	
先生の理解や応援があること	16.0	22.0	15.8	19.7	12.5	20.3	
規則正しい生活ができること	31.9	29.2	26.3	31.1	27.1	32.2	30.4%
通学しやすいこと	22.1	24.4	30.3	26.5	27.1	18.6	25.0%
働くための知識や経験が学校で身につくこと	9.9	11.3	23.7	12.2	6.3	16.9	
勉強することの意味がわかったこと	20.2	22.0	15.8	26.5	20.8	25.4	23.2%
学校に自分の居場所があること	31.9	29.8	7.9	20.9	16.7	32.2	24.3%
何があってもやめていた	14.6	13.1	22.4	15.8	18.8	25.4	

※類型ごと、上位3つを網掛け

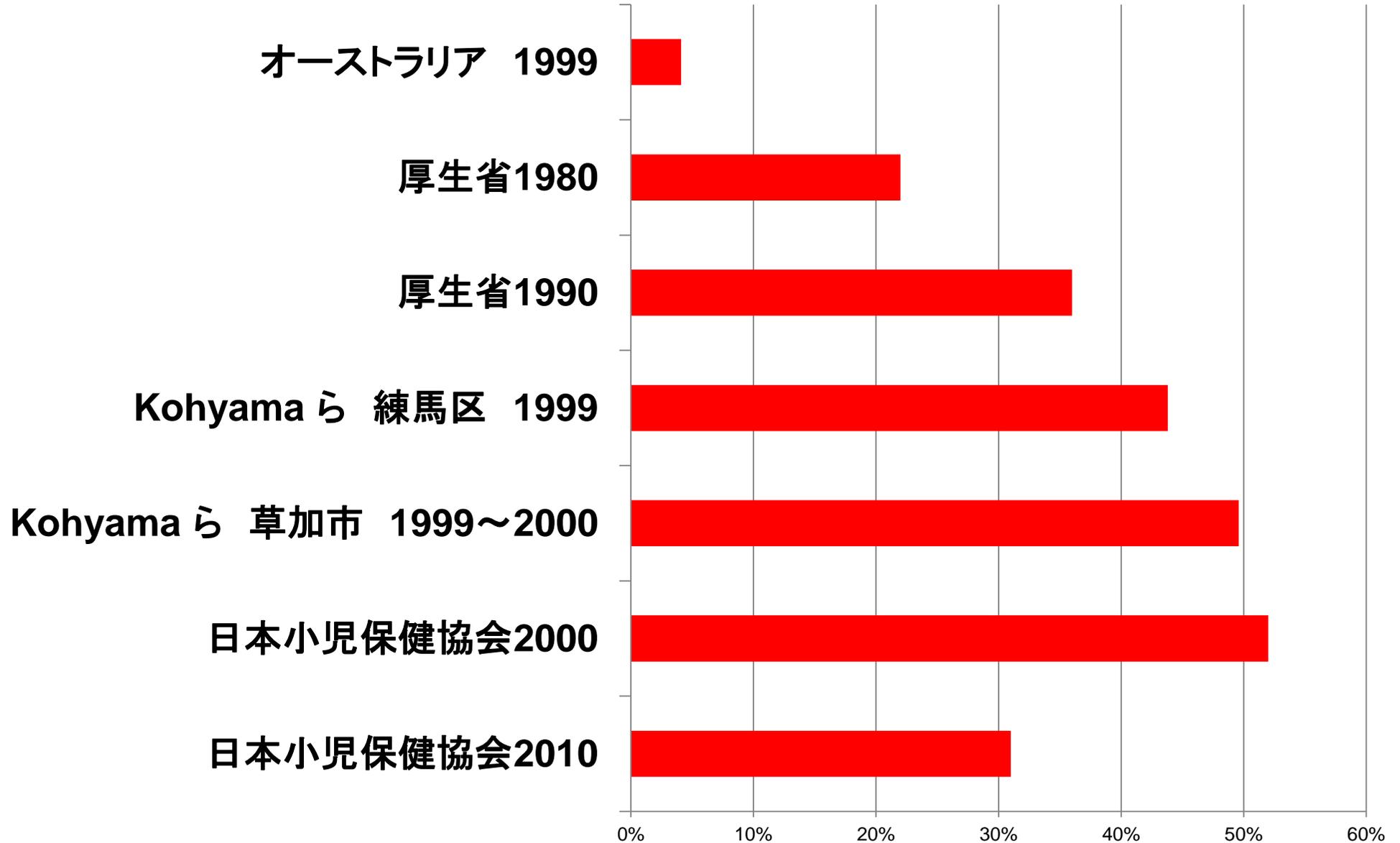
②どのようなことがあれば退学しなかったと思うか〔調査票 問4-(5)に該当〕

- ・「規則正しい生活ができること」が、全類型で上位に入っていたことが特徴的である。これは、全ての層で高校時代に規則正しい生活ができなかったと考えていることを示しており、①の結果を裏付けている。

# 高校中退者の幼少期はどんな時代？

- 平成23年度(2011年度)の高校退学者(15-17歳)
- 中学生時代(12-14歳)は2006-2010年度
- 小学生時代(6-11歳)は2000-2007年度
- 3歳時は1997-1999年度

# 夜10時以降に就床する3歳児の割合



# 高校中退者の幼少期はどんな時代？

- 平成23年度(2011年度)の高校退学者(15-17歳)
  - 中学生時代(12-14歳)は2006-2010年度
  - 小学生時代(6-11歳)は2000-2007年度
  - 3歳時は1997-1999年度
  - 平成18年(2006年)4月24日、130を超える関係団体から成る「早寝早起き朝ごはん」全国協議会が発足、同年12月には「子どもの生活習慣確立東京都協議会」も設立。
  - 平成23年度(2011年度)の高校退学者は小中学校時代には早起き早寝に関し指導されているが、幼少期は夜ふかし世代。
- 仮説「幼少期の生活習慣がその後の生活習慣に影響する」

The Marshmallow Test  
Mastering Self-Control

# 成功する子・ しない子

ウォルター・ミシェル  
柴田裕之訳



# マシュマロ・ テスト

「マシュマロ・テストで我慢できた子どもは社会的に成功した。自制心の重要性と育て方を解説。あなたも子どもも自制心を高められる」

大阪大学社会経済研究所教授

**大竹文雄氏推薦**

「目先のマシュマロをがまんする子供の意志力がその後の人生をも左右する——意志力と動機づけ、さらにその鍛え方をめぐる各種類書の集大成！」

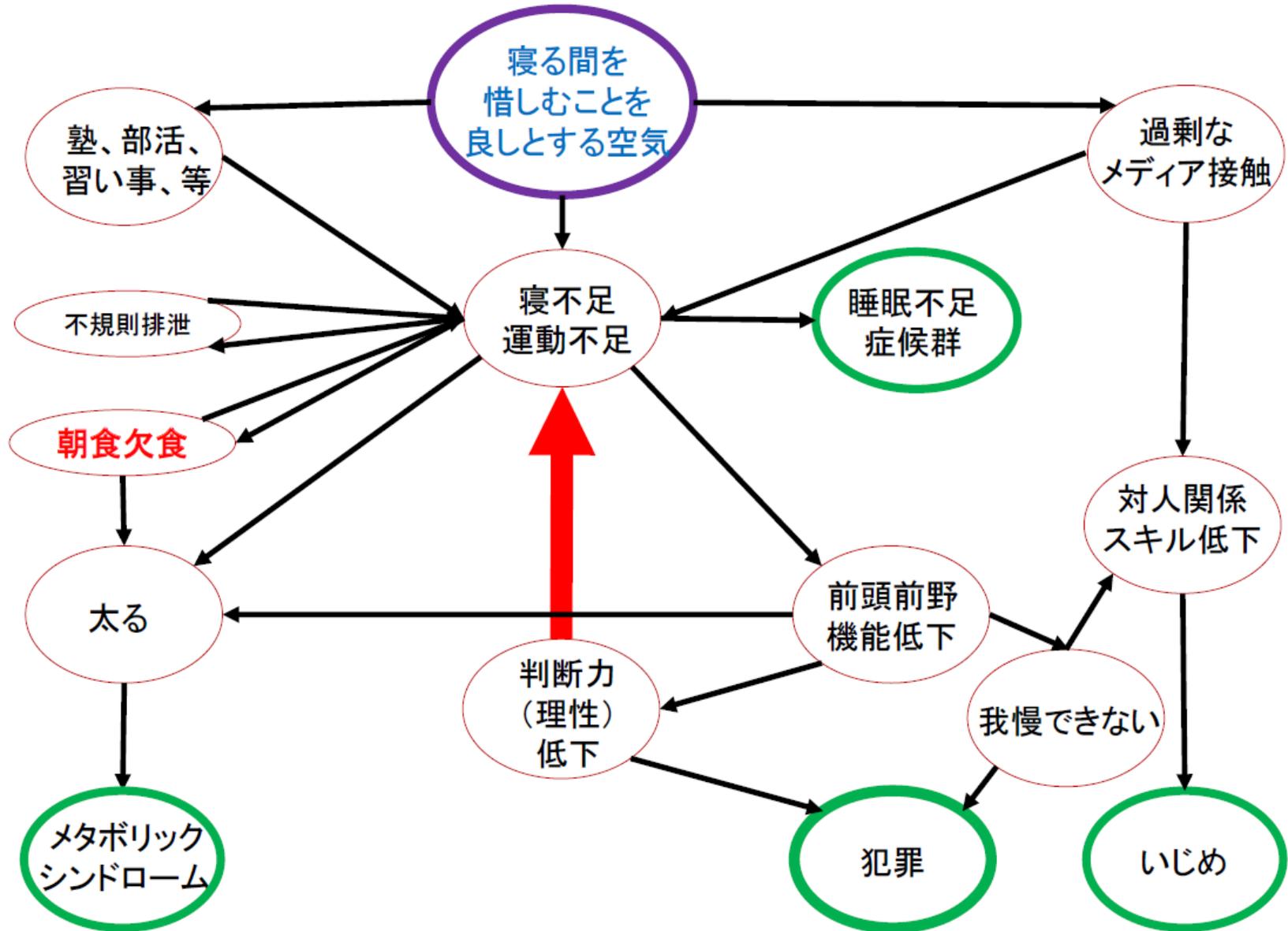
翻訳家

**山形浩生氏推薦**

行動科学で最も有名なテストの全貌を明かす待望の書。

我慢できる  
ことがとても  
も大切。

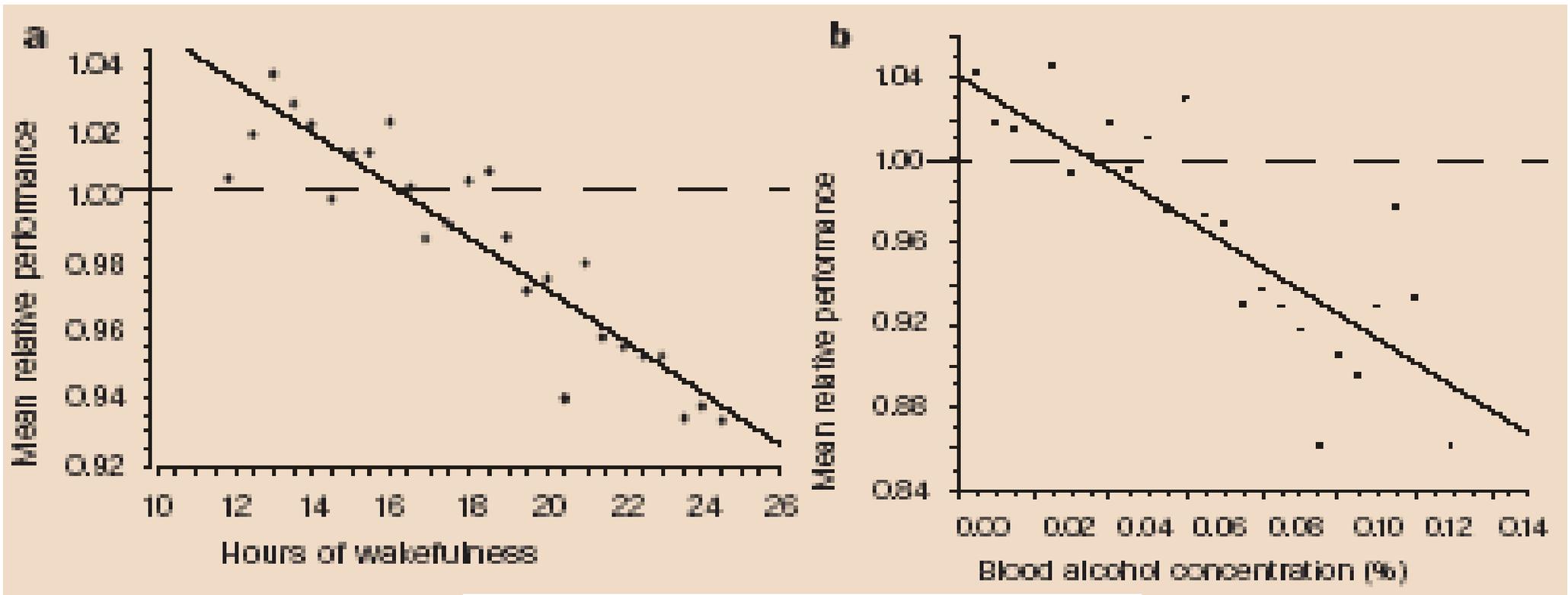
# 睡眠不足の悪循環



# Fatigue, alcohol and performance impairment

NATURE | VOL 388 | 17 JULY 1997

Dawson A, & Reid K. p.235

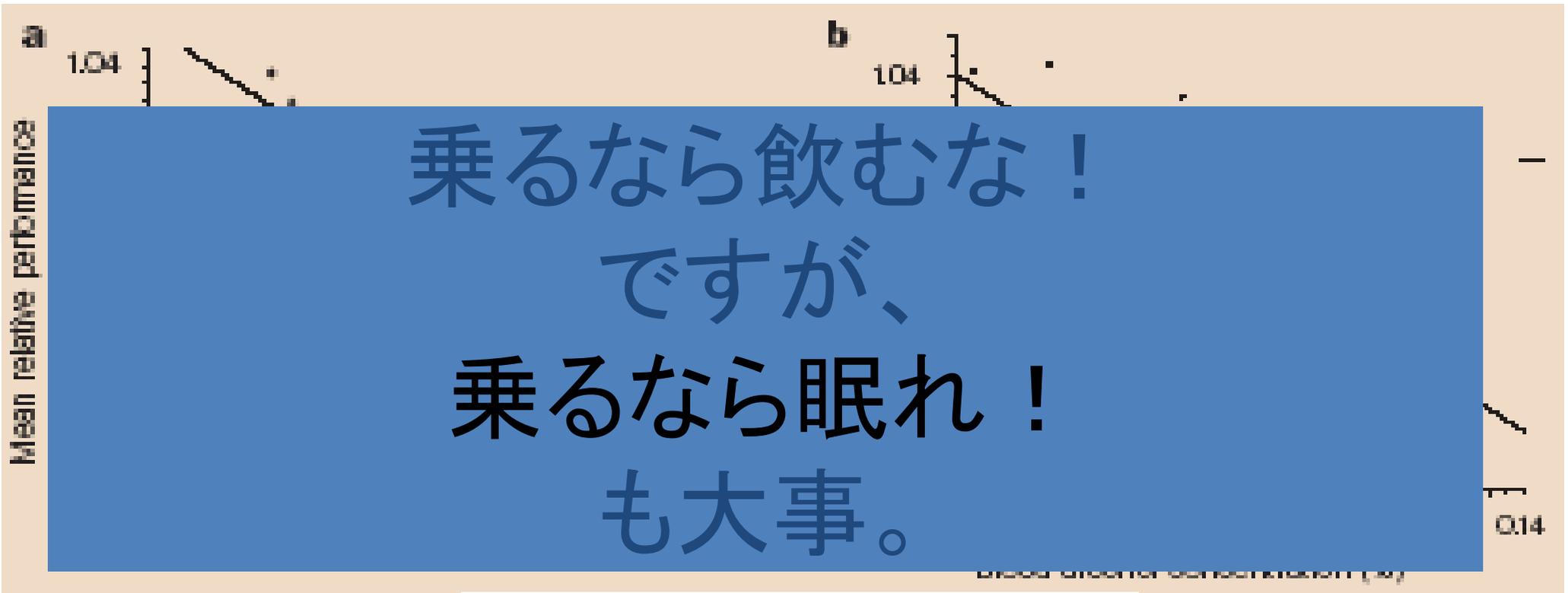


**Figure 1** Scatter plot and linear regression of mean relative performance levels against **a**, time, between the tenth and twenty-sixth hour of sustained wakefulness ( $F_{1,24}=132.9$ ,  $P<0.05$ ,  $R^2=0.92$ ); and **b**, blood alcohol concentrations up to 0.13%, ( $F_{1,24}=64.4$ ,  $P<0.05$ ,  $R^2=0.69$ ).

# Fatigue, alcohol and performance impairment

NATURE | VOL 388 | 17 JULY 1997

Dawson A, & Reid K. p.235



**Figure 1** Scatter plot and linear regression of mean relative performance levels against **a**, time, between the tenth and twenty-sixth hour of sustained wakefulness ( $F_{1,24}=132.9$ ,  $P<0.05$ ,  $R^2=0.92$ ); and **b**, blood alcohol concentrations up to 0.13%, ( $F_{1,24}=64.4$ ,  $P<0.05$ ,  $R^2=0.69$ ).

# 2時間の睡眠不足、自動車事故のリスク倍増 米研究

2016.12.07 Wed posted at 12:24 JST

## 1～2時間の 「睡眠不足」で 事故リスクが倍に

睡眠不足の状態では運転すると交通事故の危険性が高まることはよく知られているが、推奨される睡眠時間を1～2時間下回っただけで事故のリスクがほぼ倍増することが7日までに分かった。



米高速道路交通安全局（NHTSA）が2005～07年、午前6時から深夜0時までの時間帯に発生した交通事故4571件の原因について、ドライバー7234人を対象に実施した調査のデータを、全米自動車協会（AAA）交通安全財団が改めて分析した。事故前の24時間にドライバーがどれだけ睡眠を取っていたかによって分類したところ、適切な睡眠時間とされている7時間超に比べて、4時間未満しか眠っていないと事故発生率は11.5倍、4～5時間だと4.3倍に跳ね上がった。さらに5～6時間眠っていても事故は1.9倍、6～7時間で1.3倍に増えることが分かった。

ここからはGW

「2016車」 篇

エスタック

風邪でも、  
絶対に休めない  
あなたへ。



がんばっていれば、いつか報われる。持ち続ければ、夢はかなう。そんなのは幻想だ。たいてい、努力は報われない。たいてい、正義は勝てやしない。たいてい、夢はかなわない。そんなこと、現実の世の中ではよくあることだ。けれど、それがどうした？ スタートはそこからだ。技術開発は失敗が99%。新しいことをやれば、必ずしくじる。腹が立つ。だから、寝る時間、食う時間を惜しんで、何度でもやる。さあ、きのうまでの自分を超えろ。きのうまでのHondaを超えろ。

**負けるもんか。**

**HONDA**

The Power of Dreams

この広告  
への  
感想  
は？

JR四ツ谷駅の広告

- 日本っぽい根性論、外国では通用しない
- 授業きいてなければ容認
- 太く短い人生を選べ、にみえる
- ブラックだな
- 生理的欲求を抑えて打ち込むことに価値あり
- 努力の意味が間違っている。実践するとかえって能力が発揮できない



# 新毎日

新聞協会賞 最多受賞  
(編集部門 23回)



いつ休むのかった？  
地球が止まったらね。

24時間、地球のまわりをTVニュースで取りを回し続ける人工衛星。米国の宇宙飛行士、日本の宇宙飛行士、世界の仕事をもち、時を刻み、海外の男でいると、そんなイノベーションが実現する。「常に自分らしいイノベーションを強めて、世界をリードする。彼女の担当は、経っていない新しい経済に関する社説の執筆を担当し続ける。国境を越えて動き続ける経済の最新情報に、たゆまずアンテナを張り続ける。

朝は5時に起き、海。そこに、毎日ジャーナリズム。

報道に近道はない。

いつ休むのかって？ 地球が止まったらね。

24時間、地球のまわりを回り続ける人工衛星。彼女の仕事ぶりを見ていると、そんなイメージが浮かんでくる。論説委員・福本容子。彼女の担当は、経済に関する社説の執筆。国境を越えて動き続ける経済の最新情報に、たゆまずアンテナを張り続ける。朝は5時に起き、海外のニュースで欧米市場をチェック。夜も1時過ぎまで海外の最新情報を収集する。「常に自分らしいアンテナを張って、誰も持っていない新しい視点を発信し続けたいんです」 今日も彼女は、地球を見つめ続けている。

- 彼女の働き方は彼女にとってはいいんだらうけど広告にするのはいかがなものか。
- 働き方に問題あり。
- 新聞業界は頭がおかしい
- 地球が止まるか福本さんが死ぬか
- 福本さんは自分で選んでいるがHONDAは会社として囲い込んでいるからよりブラック
- 福本さんは仕事に誇りあり
- HONDAは社会にむけて俺たちは寝てない、毎日新聞は個人のレベルの話にしている

どの質問に一番関心があったか？

or

あなたが新聞記者なら見出しはどうする？

- 何時ごろ寝ますか？
- 学校以外の勉強時間はどのくらい？
- 授業中の様子
- 国旗や国家
- 介護
- 将来について

【調査方法】

	日本	アメリカ	中国	韓国
実施時期	2003年9月～ 10月	2003年9月～ 10月	2003年9月～ 10月	2003年9月～ 10月
調査学校の数	12校	11校	14校	16校
調査地域	青森県、栃木県、 山梨県、東京都、 石川県、静岡県、 愛知県、大阪府、 兵庫県、島根県、 宮崎県、熊本県	Montana, Missouri, Nebraska, New York, North Carolina, Oklahoma, Miami,FL, Adkins,TX, Washington, Lino Lakes,MN	北京市、上海 市、黒竜江省密 山市とハルピン 市、西安市、武 漢市、四川省南 充市、広東省広 州市と深せん市	ソウル、大邱、 釜山、光州、 大田、夫餘、 錦山、河南、 富川、麗州
調査方法	集団質問紙法	集団質問紙法	集団質問紙法	集団質問紙法
サンプル数	1064 票	1127 票	1310 票	1069 票

問34 あなたはふだん、何時ごろ寝ますか？一つだけ選んでください。

	日本	米国	中国
1) 午後9時前	0.8	3.9	1.5
2) 9時過ぎ～10時頃	2.8	18.0	9.4
3) 10時過ぎ～11時頃	12.3	38.3	42.6
4) 11時過ぎ～0時頃	25.2	22.0	35.9
5) 0時過ぎ～1時頃	35.6	8.4	7.8
6) 1時過ぎ～2時頃	16.2	3.9	1.2
7) 2時過ぎ～	6.7	1.4	1.1
無回答	0.3	4.1	0.5

問33 あなたは学校以外の勉強時間はどのぐらいしていますか？

(塾や家庭教師の時間を含む)

a. 平日の場合

	日本	米国	中国
1) ほとんどしない	45.0	15.4	8.1
2) 30分ぐらい	9.8	24.6	6.3
3) 1時間ぐらい	14.1	16.6	12.8
4) 1時間半ぐらい	7.4	11.4	8.7
5) 2時間ぐらい	8.0	10.7	19.1
6) 2時間半ぐらい	3.9	4.8	9.7
7) 3時間ぐらい	3.6	5.0	11.2
8) 3時間半ぐらい	2.7	2.7	9.6
9) 4時間以上	4.8	5.9	13.5
無回答	0.7	2.9	1.0

問37 次の各項目はそれぞれの程度あてはまりますか？

最もあなたに近い番号に○をつけてください。

a. 授業中、よく寝たり、ぼうっとしたりする

	日本	米国	中国
1. よくあてはまる	29.6	11.4	6.8
2. ややあてはまる	43.7	37.1	22.0
3. あまりあてはまらない	18.4	31.6	54.9
4. あてはまらない	7.5	16.8	15.4
無回答	0.8	3.0	0.9

問24 自分の国の国歌を聞いて、どう思いますか？（いくつでも選んでください）

	日本	米国	中国
1. 親しみを感じる	10.5	15.8	46.8
2. 愛着を感じる	7.2	13.3	12.2
3. 誇らしいと感じる	11.1	54.8	50.0
4. 反発・反感を感じる	13.0	4.2	1.8
5. 何とも感じない	64.6	27.7	20.3

問25 あなたはふだん、自分の国の国旗を見てどう思いますか。

	日本	米国	中国
1. 親しみを感じる	20.8	14.7	49.4
2. 愛着を感じる	12.9	13.9	13.2
3. 誇らしいと感じる	13.3	53.9	48.4
4. 反発・反感を感じる	5.8	2.7	1.1
5. 何とも感じない	56.5	29.2	18.5

問27 あなたは学校の行事や何かの式典で、国歌が吹奏されたり国旗が掲揚されるとき、起立して威儀を正しますか。一つだけ選んでください。

	日本	米国	中国
1. 起立して威儀を正す	30.2	81.6	67.0
2. 座っているときは座ったまま、特別な態度はとらない	30.5	6.6	29.8
3. どちらでもよいことと思っており、特別な態度はとらない	37.7	8.8	2.2
無回答	1.7	3.0	1.0

問21 仮にあなたの親が高齢になって、健康状態が悪く日常生活をいくらか助けてもらわなければならないとします。あなたなら、次のどの意見に賛成ですか？

	日本	米国	中国
1. どんなことをしてでも親の面倒を見たい	43.1	67.9	84.0
2. 経済的な支援をするが、介護は他人に頼みたい	18.3	9.2	11.8
3. 子どもに頼らず、親自身が貯えをしておくべきだ	3.0	1.5	0.5
4. 公的な援助や福祉に任せたい	7.8	0.6	0.5
5. わからない	27.1	15.8	2.6
無回答	0.8	5.0	0.6

問12 将来に備えることについて、あなたは次の意見のうち、どちらに賛成しますか？

	日本	米国	中国
1. 若いときは将来のことを思い悩むよりその時を大いに楽しむべきだ	50.7	39.7	19.5
2. いまから将来に備えて、しっかり勉強しておくべきだ	48.6	55.2	79.8
無回答	0.7	5.1	0.8

問13 あなたの将来は次のどれになりそうですか？

	日本	米国	中国
1. 輝いている	23.8	45.8	33.8
2. まあよいほうだが最高ではない	30.6	23.4	45.8
3. あまりよくない	10.0	1.1	4.7
4. だめだろう	6.2	0.4	0.8
5. わからない	28.6	27.7	14.6
無回答	0.8	1.6	0.2

どの質問に一番関心があったか？

or

あなたが新聞記者なら見出しはどうする？

- 何時ごろ寝ますか？
- 学校以外の勉強時間はどのくらい？
- 授業中の様子
- 国旗や国家
- 介護
- 将来について

# 少年遊びやすく 学成り難し!?

自分の将来に明るい希望を抱いている日本の高校生は全体の24%にとどまり、米中と中国の34%中、最低だったのは15日、文部科学省所管の教育研究機関の調査で分かった。将来備えてしっかり準備しようという米・中に対し、日本は「今が楽しければ」という専業主志向が強し、学校以外では勉強しないという割合も際立って高かった。

## 「ほとんど勉強しない」日本45% 米15% 中国8%



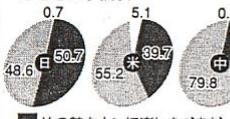
エキサイトシートで練習を見学した久保和広さん、桂祐吾、維

### 日・米・中 高校生意識調査

調査は、青少年の意識研究は米・中を大きく上回り、悲観的な見方が顕著。向がみられた。また、将来への備えについて尋ねたところ、米・中、中国は「今が楽しければ勉強する価値がなくなる」という回答が、日本は「若し将来の備えが半減を越えれば、その時を大いに楽しむべき」という回答が半数を超えた。「今一番やりたい事」も米・中と比べ「好きなように遊んで暮らす」、「何もしていない」の回答が半数を超えた。「何をしないでのんびり過ごすの趣味をエンジョイする」の回答も米・中を大きく上回った。

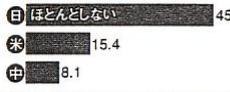
今一番したい事(%)	日本	米	中
1. 何もしていないでのんびり過ごす	14.7	6.4	6.5
2. 自分の趣味をエンジョイする	40.9	37.0	71.7
3. 好きなように遊んで暮らす	38.3	22.5	4.9
4. 勉強するなど将来に備えてがんばる	5.7	17.3	16.5
5. その他(米国のみ)	—	12.3	—
無回答	0.4	4.6	0.5

#### ◆ 将来に備えることについて、どちらに賛成?



その時を大いに楽しむべきだ  
勉強しておくべきだ  
無回答

#### ◆ 学校以外の勉強時間(平日)



## 皇后さま、口唇ヘルペス

### 「疲労が原因」2日間

宮内庁は昨夜、皇后さまに疲労が重なること起きやすいため、口唇ヘルペスと診断され、金沢医療主管は「心身治療と休養のために16日の疲労が積み重なって起こった」と説明した。白間の休養をお願ひした。皇后さまは「13日、14日、15日は皇居内で開かれた音楽大卒業生の演奏会に出席し、15日は朝から上層に連日、専門医の診察を受けたが、公務などで過度な疲れを感じた」と説明した。皇后さまは「13日、14日、15日は皇居内で開かれた音楽大卒業生の演奏会に出席し、15日は朝から上層に連日、専門医の診察を受けたが、公務などで過度な疲れを感じた」と説明した。

## 日本の高校生

# 「学校外で勉強せず」45%

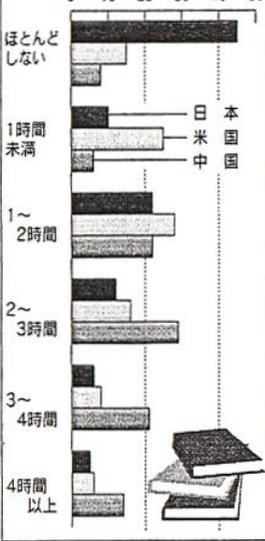
平日に学校以外の場で勉強しない高校生は中国が8%、米中が15%しかいないのに、日本は45%にも達することが15日、財団法人日本青少年研究所(東京)がまとめた「高校生の学習意識と日常生活」に関する比較調査で分かった。「授業中よく寝たり、ぼーっとする」と答えた生徒の割合も日本が七割強で最高で、学習意欲の低さが改めて鮮明になった。

### 国際比較 中国8%、米は15%

## 学習意欲の低さ鮮明に

調査は昨年九、十二、月、日米中の高校生それぞれ約千三百人にアンケート形式で行い、ほぼ全員の回答を得た。平日、自宅や塾など学校以外の場でどのくらい勉強するか尋ねたところ、「ほとんどしない」

### 平日の学校以外での勉強時間(高校生)



「ほとんどしない」結果になった。学習意欲に関する質問では、日本の生徒の73%が「授業中よく寝たり、ぼーっとする」と答えた。米国の四八%、中国の二八%を大きく上回った。普段、午前零時過ぎに就寝する生徒は米中両国では一割強なのに日本は六割近くを占め、日本の高校生は夜更かしで寝不足

# 自己中心で刹那的 日本の高校生

「国に誇りを持っている」という日本の高校生は51%で、米国、中国に比べて二割以上少ないことが日・米・中三方国の高校生を対象にした意識調査で分かった。日本の高校生は「将来を思い悩むより、その時を大いに楽しむべきだ」「親の面倒をみたくない」と考える割合も三方国中で最も多く、刹那的、自己中心的に生きる日本の若者意識が浮かび上がった。

## 国に誇り51% 親の面倒43%

米中に比べ際立つ低さ

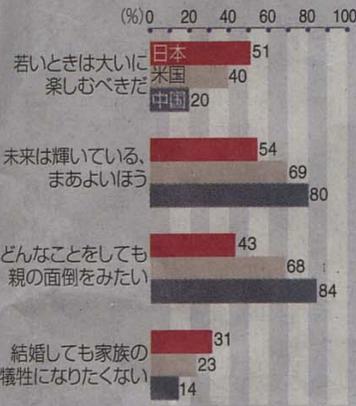
### ■国旗・国歌

調査は、財団法人日本青少年研究所（東京・新）が昨年九月から十二月にかけて、三方国三十五の高校で行い、三千六百四十九人が回答した。

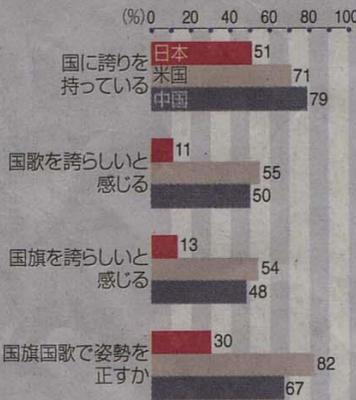
「自分の国に誇りを持っているか」との設問で51%と、米中両国に比べて目立って低かった。「やや持っている」と答えたのは、国旗、国歌を「誇らし

い」と思う割合も、米中両国の半分以下。「国歌を歌えるか」との質問には、「歌える」と答えた日本の高校生は66%にとどまり、三人に一人は、「少し歌える」「ほとんど歌えない」と答えるなど、国旗国歌に抵抗感を植え付ける自虐的教育の影響を懸念させる結果となった。

### 日・米・中の高校生の意識調査



### 国旗・国歌に関する意識



こうした意識は国旗国歌への敬意などに表れ、「学校の式典で国歌吹奏や国旗掲揚されるとき、

### ■将来・意欲

起立して威儀を正すか」との質問に「起立して威儀を正す」と答えた日本人高校生は米中の半分以下の30%。38%は「どちらでもよい」と、特別な態度はとらない」と答え、国際的な儀典の場でも、日本の若者の非礼が批判を受ける下地となっていることをうかがわせる。

将来への希望を問う設問では、「将来は輝いている」「まあよいほうだが最高ではない」と答えた割合は中国が80%と最も高く、日本は54%と最も悲観的であることが分かった。

さらに、勉強については「平日、学校以外ではほとんど勉強しない」が45%（米15%、中8%）、「授業中、よく寝たり、ぼろっとしたりする」も73%（米49%、中29%）と、学習意欲も米中に比べて明らかに低いことが裏付けられた。

### ■恋愛・家族

恋愛観では「純粋な恋愛をしたい」と考える割合は九割と日本が最も高かった。しかし、結婚後の「家族のために犠牲になりたくない」とも日本がトップ。将来「どんなことをしても親の面倒をみたい」とは三方国で最も低

## 親から啓蒙する必要

森隆夫・お茶の水女子大名誉教授（教育行政学）の話 高校生になって自国に誇りを持っていないのは、情けないこと。自分自身にも誇りを持っておらず、胸を張って生きていないのではないか。少子化に加え、数少ない子供の質が低下する「劣子化」が今の日本の問題。個人は社会に支えられており、「国あっての自分」「家あっての自分」ということを理解していない。

日本流の人生観教育・職業観教育を実践し、幼いころから自分と国との関係を考えさせることを提案したい。本来、総合学習や生活科はそういった教育を行う場なのだが、指導法に問題があるために実現していない。ただ、子供の教育は一義的には家庭が行うもの。まずは親に対する信念調査を実施して、親が子供や国の将来についてどのように考えているか把握し、親を啓蒙（けいもう）する必要がある。

### ■識者コメント■

教育関係の著書も多い精神科医の和田秀樹氏の話 大人が考える以上に、若者の間にあきらめが氾濫（はんらん）し、刹那的になっている。バブル経済前は、頑張った生活ができるという、社会に対する確信があった。しかし終身雇用が崩れ、大学を出ても就職できない状況になり、将来に希望を失ってなくなっている。あきらめの早さの背景には、社会に対する不信とも、日本という国や自分自身に對して誇りを持ってなくなることが挙げられる。誇れる気持ちを植え付けるのは学校教育の役割ではあるが、学校だけで実現が難しいのも現状だ。学校が徹底した学力向上策を図って最低限の自信を植え付けた上で、マスメディアも含め社会全体が若者が誇りを感ぜられる環境を作り出す必要がある。

## 自信持たせる環境を

# 高校生の過半数 就寝は0時過ぎ

「授業中居眠り・ぼろっと」7割

授業中によく居眠りしたりぼろっとしたりすると答えた日本の高校生は7割を超え、米国や中国を大きく上回っていることが、財団法人日本青年研究所などの「学習意識と日常生活」に関する日米中3カ国比較調査でわかった。日本は午前0時以降に就寝する割合でも50%超と突出した。

同研究所は毎年、3カ国の意識調査をしている。今回も昨春秋以降に

実施し、日本は11都道府県11校の約1300人、米国は12校の約1千人、中国は12校の約1300人を対象とした。

「授業中、よく寝たり、ぼろっとしたりする」と答えた生徒は日本が73・3%に上ったのに対し、米国は48・5%、中国は28・8%だった。

就寝時刻は、米国と中国はいずれも4割程度の生徒が午後10～11時で最も多いが、日本はこの時刻は1割程度。最も多いのは午前0～1時で35・6%、1時以降も22・9%いた。とはいえ、遅くまで勉強しているわけではないようで、平日に「学校以外ほとんど勉強しない」と答えた生徒は日本が45・0%で最も多く、米国の15・4%、中国の8・1%を大きく引き離れた。

# どの質問に一番関心があったか？

or

## あなたが新聞記者なら見出しはどうする？

- 何時ごろ寝ますか？ 朝日
- 学校以外の勉強時間はどのくらい？ 読賣・日経
- 授業中の様子 朝日
- 国旗や国家 産経
- 介護 産経
- 将来について 産経

## 「メディア・リテラシー」とは

- ① 受け身の姿勢でメディアに振り回されるのではなく、メディアに主体的・能動的に向き合うことを「基本姿勢」とし、  
その上で
  - ② メディアにアクセスして、これを使いこなせるだけでなく(活用能力)、
  - ③ メディアが提供する情報を「構成されたもの」として、批判的(クリティカル)に分析・評価し(判断能力)、
  - ④ 取捨選択しながら、自分の意志決定や行動に結びつけるとともに、メディアを使って自分の生き方や考え方を他人にわかりやすく表現・発信できる(表現能力)、複合的な能力のことである。
- そしてこれら「活用、判断、表現」の3つの能力の獲得を目指す取り組みも「メディア・リテラシー」に含まれる、ということなのです。

では2016年のテーマは？

GWでテーマを、  
あるいは決めるプロセスを、  
決めてください。

就活で身だしなみを統一するか否か

自分の身体の声に聴くには